

### 寄贈図書リスト

- ① 天文学者が1を知ると、宇宙は10の謎を投げかけてくる、田中雅臣 津村耕司 編著、佐藤文衛 前原裕之 守屋堯 檜山和己 著、四六判、260

ページ、1,980円+税、河出書房新社

- ② 星のギリシア神話研究 星座を彩る物語と文化 エーゲ海の風、早水勉、星ナビ編集部 編、A4 変形版、208ページ、2,545円+税、KADOKAWA

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日に締切り、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。ご投稿いただいた記事は、翌月初旬に一度校正をお願いいたします。

記事の投稿は、e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp) 宛にお送りください。折り返し、受領の連絡をいたします。

### 人事公募

#### JAMSTEC Young Research Fellow 2026

JAMSTEC Young Research Fellow 2026公募を開始いたしました。

自然科学・工学分野の博士号取得5年以内の若手研究者を募集する制度です。

JAMSTECの研究開発環境を活用することで、自身の研究課題をより卓越した業績へと発展させ、国際的に活躍する自立した研究者として飛躍することが期待されます。

■募集人員：約5名

■勤務地：国立研究開発法人海洋研究開発機構 以下の研究拠点のいずれか

- ・横須賀本部 神奈川県横須賀市夏島町2番地15
- ・横浜研究所 神奈川県横浜市金沢区昭和町3173番25
- ・むつ研究所 青森県むつ市大字関根字北関根690番地
- ・高知コア研究所 高知県南国市物部乙200（高知大学物部キャンパス内）

■専門分野：自然科学・工学全般

■応募締切：2025年8月3日

■問合せ先：

国立研究開発法人海洋研究開発機構

人事部人事任用課 採用担当 [jyrf2026@jamstec.go.jp](mailto:jyrf2026@jamstec.go.jp)

詳細は募集要項をご確認ください。

※本公募の募集要項は英文のみとなります。

<https://www.jamstec.go.jp/recruit/j/jyrf/>

### 賞の推薦

#### お茶の水女子大学賞： 第13回湯浅年子賞募集要項

設立趣旨

湯浅年子賞は、大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構（KEK）が日仏共同事業として運営する Toshiko Yuasa Laboratory（TYL）の協力を得て、湯浅年子博士の自然科学及びその関連分野への功績を記念して設立した賞で、お茶の水女子大学賞の1つとして位置づけられている。

目的

湯浅年子賞は、本学及びその前身校において数多くの女子学生を育て、フランスにおいては長年にわたって優れた原子核の実験的研究を行い、国際的に活躍した日本初の女性自然科学者である湯浅年子博士の遺志が若い世代に受け継がれることを願い、自然科学の諸分野において顕著な業績を挙げた女性を顕彰することを目的とする。

賞の種別

- (1) 金賞 物理学とその関連領域分野における業績が著しく顕著であり、国内あるいは国外において、既に高い評価が確立している女性を顕彰する。
- (2) 銀賞 物理学とその関連領域分野における業績が特に顕著であり、近い将来当該分野において、国際的に活躍する女性になると認められる者を顕彰する。

受賞対象者

次の(1)、(2)両方を満たす者。

- (1) 物理学とその関連領域分野において顕著な研究業績を挙げた者。また、物理学とその関連領域分野の社会的普及活動あるいは同分野の女性研究者を増大させる活動において、顕著な業績を挙げた者

も受賞対象者とする。

- (2) 日本国籍を有する者または日本において高等教育を受けた者。

#### 授与

受賞者には、賞状及び副賞のメダルを授与する。(メダルは大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構が日仏共同事業として運営するToshiko Yuasa Laboratoryより授与される。銀賞受賞者は、Toshiko Yuasa Laboratoryによりフランスに招聘される。)授賞式は2026年2月17日予定。

#### 審査方法

書類審査(書類審査合格者に対して面接審査を行う場合がある。)

#### 応募方法

他薦に限る。以下の書類(形式自由)を、推薦者より提出する。

- (1) 推薦書 被推薦者の業績タイトル、推薦理由、賞の種別(金賞、銀賞)、推薦者の住所、氏名[フリガナ]及びメールアドレスを記載すること。
- (2) 被推薦者の履歴書(写真貼付)
- (3) 被推薦者の業績一覧(論文(審査の有無別)、著書、招待講演、学会発表、その他に分類すること)主たる業績3点以内に○印を付けること。
- (4) 被推薦者の主たる業績を表す資料3点以内
  - (1)~(4)のPDFファイルを下記のメールアドレスに送ること。

なお、PDFファイルにしがたい資料は郵送による提出も可能。

#### 提出締切

2025年9月5日(金)(17時必着)

#### その他

- (1) 応募書類の提出後、その記載事項を変更することや補充することは認められません。提出された応募書類の内容が事実と異なる場合、当該応募は無効となります。
- (2) 提出された応募書類は返却しません。
- (3) お茶の水女子大学は、面接審査のための旅費は負担しません。
- (4) 応募書類に虚偽が発見された場合は、授賞後であっても授賞を取消すことがあります。
- (5) 応募書類を受領後に確認メールを送付するので、メール送信後3日以上(土日祝、夏季一斉休業期間である8月12日~18日を除く)受領確認のメールが届かない場合には、お問い合わせください。

本件に関する問い合わせ・提出先

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

国立大学法人お茶の水女子大学 広報・ダイバーシ

ティ推進課 ダイバーシティ推進担当

E-mail: Ocha-Prize@cc.ocha.ac.jp 電話: 03-5978-5336

## 令和7年度『東レ理科教育賞』および『東レ理科教育賞・企画賞』募集

“東レ理科教育賞”は、中学・高校の理科教育に携わる先生方を表彰するユニークな事業です。応募要領をご覧くださいのうえ、どうぞ奮ってご応募ください。

#### 【東レ理科教育賞】

対象: 中学校・高等学校レベルでの理科教育における新しい発想と工夫考案にもとづいた教育事例(教育の現場で実績のあるもの)。

褒賞: (1) 東レ理科教育賞文部科学大臣賞(東レ理科教育賞の中で特に優れているもの)賞状、銀メダルおよび副賞賞金100万円、(2) 東レ理科教育賞賞状、銀メダルおよび副賞賞金70万円、(3) 東レ理科教育賞佳作(東レ理科教育賞に次ぐもの)賞状および副賞賞金20万円、(4) 東レ理科教育賞奨励作(東レ理科教育賞および佳作とは別に、理科教育上広く普及を奨励するもの)賞状および副賞賞金20万円、を合せて10件程度選定。

応募手続: 9月29日(月)正午までに専用ウェブフォームにて事前申込みの上、所定の応募用紙(申請書)に必要事項を記入し、PDF形式に変換して応募専用メールアドレス宛てに送信。

応募締切日: 2025年9月30日(火)必着。

応募要領URL:

<https://www.toray-sf.or.jp/awards/education/application.html>

#### 【東レ理科教育賞・企画賞】

対象: 中学校・高等学校レベルでの理科教育における新しい発想と工夫考案にもとづいた企画・開発。

褒賞: 賞状および副賞賞金10~20万円(10件程度選定)。

応募手続: 9月9日(火)正午までに専用ウェブフォームにて事前申込みの上、所定の応募用紙(申請書)に必要事項を記入し、PDF形式に変換して応募専用メールアドレス宛てに送信。

応募締切日: 2025年9月10日(水)必着。

応募要領URL:

[https://www.toray-sf.or.jp/awards/education/application\\_plan.html](https://www.toray-sf.or.jp/awards/education/application_plan.html)

#### 【両賞共通】

応募資格: 中学校・高等学校の理科教育を担当、指導、または研究する方。応募要領参照(6月下旬に昨年度の実績作品集とともに全国の中学校、高等学

校、高等専門学校の学校長経由理科担当教諭宛などに送付。ウェブサイトにも掲載。応募用紙はウェブサイトからダウンロードしてください。

【お問合せ】公益財団法人東レ科学振興会

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-3-16

Tel: 03-6262-1656 Fax: 03-6262-1901

## 朝日新聞・朝日新聞文化財団：

### 2025 年度朝日賞候補者

2025 年度朝日賞候補者募集についてご案内いたします。

なお、学会推薦による応募であるため、本会にて提出書類を審査の上、推薦いたします。

日本天文学会 事務所

〈対象〉

学術、芸術などの分野で傑出した業績をあげ、わが国の文化、社会の発展、向上に多大の貢献をされた個人または団体。原則として年度賞とし、毎年1月から12月までの業績。長年にわたる業績を対象とすることもあり。

〈助成金額及び採択数〉

ブロンズ像と副賞500万円。1件。

〈推薦要項〉

推薦票を学会へ請求し、必要事項を入力の上メールにて提出してください。

請求・提出先：学会事務長 <jimucho@asj.or.jp>

〈締切〉

2025年8月12日(火) (学会締切)

〈問い合わせ先〉

賞に関して：朝日新聞社 朝日賞事務局 (asahiprize@asahi.com)

学会推薦関係：学会事務所

## 編集委員会より

### 天文月報表紙デザイン案大募集！

天文月報では、次の一年間の表紙デザインを常時募集しております。毎年8月31日に締め切り、一年間で集まった作品を対象に、翌年の表紙デザインを選考します。詳しくは下記募集要項をご確認ください。応募はプロ・アマチュア、会員・非会員問わずどなたでも受け付けておりますので、多くの方からの応募をお待ちしております。

〈募集概要〉

・採用作品掲載期間は毎年1号（12/20発行）～12号（11/20発行）の12ヶ月（12回分）です。

・表紙は題字（『天文月報』の文字）、号数、日本天文学会のロゴマーク、記事タイトル、カラー画像（毎月変更）および背景イラストで構成されます。すべての配置を含めたデザインをお願いいたします。

・毎月違うイラストでも、同じデザインで色違いでも構いません。具体例は過去の天文月報をご覧ください。天文月報のホームページのバックナンバー

<https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/backnumber>

■募集要項・天文月報投稿用アップローダーに、表紙デザイン案の画像ファイル、およびそのコンセプトをお送りください。

・カラー：CMYK

・ファイル形式不問

・雑誌のサイズ：B5判タテ（182ミリ×257ミリ）

・締切り：2025年8月31日

・送り先：天文月報編集委員会天文月報投稿用アップローダー

[https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author\\_submission/](https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author_submission/)

ユーザー名：geppou パスワード：toukou

■応募規定

・募集する作品は、応募者が作成した未発表のオリジナル作品に限ります。

・作品の中に第三者が著作権等の権利を有している著作物等を利用していないものとします。

・採用された場合、納品された表紙の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は日本天文学会天文月報編集委員会に帰属します。

・採用された場合、表紙に使用したオリジナル原画の著作権（著作権法21条から26条の3に規定する権利。）は日本天文学会天文月報編集委員会に帰属します。

・採用された場合、著作者が表紙に使用したオリジナル原画を他の目的で使用する際は、事前にその旨を日本天文学会天文月報編集委員会に知らせ、転載許可を取ってください。

・応募にあたりご提供いただいた個人情報は、本要項による採用作品の通知のためのみに使用します。

・採用された方には、規定の謝礼をお支払いします。（24万円/1年分（税込み・毎月払い））

・問い合わせ先

問い合わせフォーム：<https://www.asj.or.jp/jp/contact/>

eメール：[geppou@asj.or.jp](mailto:geppou@asj.or.jp)

表紙デザイン募集サイト

<https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/design/>

## 訂 正

- ・天文月報7月号の月報だよりに、本来掲載されるべき人事公募記事が事務的な手違いにより掲載されませんでした。掲載できなかった人事公募記事は、次のとおりです。

文教大学教育学部理科専修（地学） 教授，准教授または講師  
1名の公募

関係の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたこと，心よりお詫び申し上げます。

なお，当該人事公募情報は，6月27日付けでオンライン版に掲載するとともにtennetで配信いたしました。

- ・天文月報7月号月報だよりp.448の訃報におきまして，「木暮智一氏」は「小暮智一氏」の誤りです。お詫びして訂正いたします。

天文月報118巻9月号 主な掲載予定記事

ASTRO NEWS: XRISM ニュース (4) 観測速報その3

アストロバイオロジーセンター10周年特集 (3): 多色同時撮像カメラ MuSCAT シリーズ 10年の歩み【成田憲保】

EUREKA: 天の川銀河中心にある分子雲の“速度計測”【酒井大裕】

天球義: 福井工業大学学部生による手作り望遠鏡を用いたパルサー観測報告【宮本祐介ほか】

〈シリーズ〉海外の研究室から: 太陽の家ハレアカラから太陽観測【阿南徹】

〈シリーズ〉天文学者たちの昭和: 日江井榮二郎氏ロングインタビュー [第6回] 日食観測 (2)【高橋慶太郎】

編集委員: 日下部展彦 (編集長), 岡本文典, 小山翔子, 志達めぐみ, 鈴木大介, 高橋葵, 田中壺, 谷川衝, 鳥海森, 中島亜紗美, 信川久実子, 橋本拓也, 福島肇, 藤澤幸太郎, 宮武広直, 宮本祐介, 守屋堯  
令和7年7月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会  
印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社  
定価733円 (本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会  
Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487  
振込口座: 郵便振替口座00160-1-13595 日本天文学会  
三菱UFJ銀行 三鷹支店 (普) 4434400 公益社団法人 日本天文学会  
日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)  
会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2025年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)